

# 今市まちづくりセンターの新たな取組

事業名  
関係機関協働事業

## 今市の魅力再発見 ～イマフル～

「イマフル」県立大学生が命名！  
・今市はパワフルに女性が活躍していることや、  
パワフルに今市のまちづくりを活性化していきたい  
という思いが込められています。

パワフル

カラフル

ワンダフル

ピースフル

今(イマ)と古(フル)

P

### 事業の目的（解決を目指す課題）

地域に住居している住民の暮らしへの満足度が高まる地域  
希薄化しがちな住民同士の繋がり感を取り戻し地縁が深まる地域  
住民が地域に関心を持ち先人から継いだ知恵を後世に繋げる地域  
「大学×企業×地域×県×民」協働事業による元気な地域

### 見込まれる成果

シビックプライドの醸成によるウェルビーイングの高まり  
高齢者や子育て中の孤立感への歯止め  
地域資源と人財の掘起こし  
多様な世代の地域での活動を応援・情報発信  
住民、企業等に心地好い刺激と活性化

D

事業の概要 ※①を達成するためのファクターとして①②③を実施

#### ① グループトーク

～地域が抱える問題を大学生と共有～

■県立大学教授、大学生、県職員、四つ葉振興会正副会長会、センター職員



6月～1月 5回 / 実施総人数 70人

#### ② フィールドワーク

～地域を探索し、聞き取りから問題点・課題を探る～



7月3日(土) 坂本・今市地区



7月6日 丸原・南高台地区

■島根県立大学教授、大学生  
県職員、四つ葉振興会正副会長会、  
地域の企業、センター職員他 40人



撮影の様子

#### ③ 動画撮影・発信

～地域の魅力を YouTube 撮影・発信～

■撮影日：10/11(月)、10/18(月)、10/20(水)

■撮影場所：今市まちづくりセンター・地域の企業

■島根県立大学教授、大学生、県職員、旭地域企業、センター職員他総 25人

C

課題の解決度合（10段階の自己評価）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

	○									
--	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

・上記評価の理由

■現状差が大きく異なる4つの地区を跨いでいる  
ことに加え、課題が複合的・重層的であり、一緒  
に目標に向かう関係人口が少ないと考えられる  
ため

A

事業の継続、発展に向けて今後取り組むこと  
（評価を10に近づけるために）

- 課題にトライする県大生のパワーを継続的に取り  
入れ、将来のありたい姿を起点とした発想を共有  
する仕組み
- 大学生の活動を通して受けた刺激が、住民の我が  
事と意識を育み、積極的な地域活動への参画を増  
やす取組

YouTubeの検索は↓

企業紹介編



商品紹介編



大学生による YouTube 動画撮影



調理紹介編

